

平成28年度 子育て支援センター（おひさまルームひじり）運営事業総括

【子育て支援センター運営事業】

《目 的》

就学前児童とその保護者を対象に、子どもの人権尊重を基本に捉え、人と人とのつながりを通して様々なニーズに合わせた子育て支援を図る。

《内 容》

子育て中の在宅の親子の居場所となり、子どもにとってはあそびの経験や他の子どもたちとの交流の場、保護者にとっては育児が孤立しないよう子育てについて話す場、他の保護者との交流・つながりの場、自分に合った子育てを学び合う場となるよう子育て支援を行う。

《主な事業内容》

I.乳幼児やその保護者が自由に遊べる場の提供（オープンスペース）

- ・オープンスペース
- ・年齢限定オープンスペース（0，1，2歳児）

II.乳幼児やその保護者の交流や学習の場の提供（プログラム）

- ・ベビーマッサージ（月1回）
- ・親子ふれあい遊び（年3回×2グループ）
- ・クリスマスを楽しもう
- ・歯科衛生士のお話（年3回）
- ・1歳児、2歳児集まれ！（年4回）
- ・栄養士のお話（年2回）

III.子育てサークル活動の支援

IV.子育てに関する相談

V.他機関との連携

VI.子育てに関する情報の収集および提供

VII.多世代交流イベントの実施

- ・ボランティアによる絵本の読み聞かせ
- ・ふれあいセンター祭り
- ・七夕飾り
- ・そうめん流し
- ・あひるの会コンサート
- ・盆踊り
- ・雛人形飾り
- ・ロビーコンサート
- ・ふれあいマーケット

VIII.その他

平成28年度 子育て支援センター（おひさまルームひじり）運営事業総括（抜粋）

I. オープンスペース

1. 実施概要

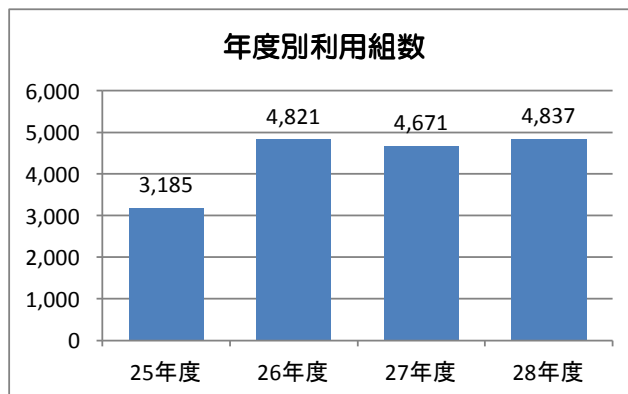
目的	核家族化・少子化・住環境の変化などにより家族関係や近隣関係が希薄になり、親同士が日常的に交流できる場や子供同士と一緒に遊ぶことのできる場が減少している。これに伴い、育児不安や孤立した子育てが問題となる中、下記の目的の場を提供する。							
	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が安心して遊ぶことのできる場 ・親子が他者と出会い・交流できる場 ・出会った親子が交流を深め、互いに成長していける場 ・子育てに対する知識をスタッフや他の利用者から得る場 ・子育て家庭の多様なニーズに応じた情報提供や相談に取り組む場 							
	実施日時	オープンスペース実施	月	火	水	木	金	土
		10:00~12:00	○	※	休業	子育てサークルデイ	○	○
	12:00~13:00	おべんとうひろば	おべんとうひろば	休業	おべんとうひろば	おべんとうひろば	おべんとうひろば	
	13:00~16:00	○	○	休業	※	○	○	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で自由に遊ぶ ・午前、午後終了前に手遊びや親子ふれあい遊びの紹介・絵本の読み聞かせ・ペープサート・パネルシアターなど ・※印：プログラム、年齢限定オープンスペースを開催 							

2. 実施結果

《オープンスペース年間利用数》

年度別利用組数

	利用組数
25年度	3,185組
26年度	4,821組
27年度	4,671組
28年度	4,837組



年度別利用人数

	大人	子ども	合計
25年度	3,312人	3,667人	6,979人
26年度	5,024人	5,494人	10,198人
27年度	4,853人	5,636人	10,489人
28年度	4,983人	6,168人	11,151人

考察	<p>平成28年度の利用組数は4,837組と、前年度より166組の増加となり、おひさまルームひじりオープン以来最多の利用人数・組数となった。</p> <p>しかし、臨時オープンスペースを11回開催するなどオープンスペースの実施日数も増えており、一年間及び一カ月間の平均利用組数は増えたものの、一日当たりの平均利用組数は25.7組と前年度より1.1組の減となった。これはご利用者にひじりは水・木曜日と連続で利用できないという認識が強く、臨時オープンスペースの開催が浸透できていなかったためと思われる。</p> <p>次年度は、臨時オープンスペースの開催を20回程度予定しており、木曜日午前はサークルデイのため開催できないが、更に多くのかたに利用していただけるように、カレンダー配布・プレイルーム内掲示・ブログだけでなく、声掛けをするなどして周知を図りたい。</p> <p>また、月別では7・8・9月利用が大きく増加した。これはその期間に実施しているテラスでの水遊びを週2日から3日に増やし、期間を延長したためである。</p>